

日本移民学会編集委員会 編集



第 28 号
2022.6

移民研究年報

特集 帰還／移動／再移動

「人びとの帰還／移動／再移動を考える」の論文掲載にあたって 外村 大
オーバーシュレージエン自由国

——第一次世界大戦直後のドイツ＝中東欧境界地域における独立国家構想—— 衣笠 太郎

移動する人々の時代——第二次世界大戦後のヨーロッパにおける人の移動—— 川喜田 敦子

アメリカ先住民の都市化

——「インディアン都市移住計画」(1952～73年)と都市先住民の今—— 大野 あずさ

在日コリアンの北朝鮮帰国事業とメディア

——冷戦下の「移民的帰還」を促した報道内容の分析—— 菊池 嘉晃

特集公募論文

帰還移民と世界のウチナンチュの日 藤浪 海

特集公募研究ノート

在日ブラジル人としての「私」の移動

——オートエスノグラフィーから捉える存在論的移動—— 大川 ヘナン

小特集 日本移民学会創立 30 周年記念シンポジウム報告

日本移民学会の未来——移民研究は如何に現代の 坂口 満宏／蘭 信三／竹沢 泰子／

課題に貢献できるのか—— 中牧 弘允／浅香 幸枝／アンジェロ・イシ

書評

南川文里著『未完の多文化主義——アメリカにおける人種、国家、多様性』 辻 康夫

野入直美著『沖縄—奄美の境界変動と人の移動——実業家・重田辰弥の生活史』 大野 俊

河原典史著『カナダにおける日本人水産移民の歴史地理学研究』 今野 裕子

栗田知宏著『プリティッシュ・エイジアン音楽の社会学——交渉するエスニシティと文化実践』 五十嵐 泰正

佐藤麻衣著『ニューヨークの日本人画家たち——戦前期における芸術活動の足跡』 永富 真梨

木村健二著『近代日本の移民と国家・地域社会』 塩出 浩之

新刊紹介

松尾昌樹・森千香子編『グローバル関係学 6 移民現象の新展開』 山根 美奈

福永由佳編、庄司博史監修『顕在化する多言語社会日本——多言語状況の的確な
把握と理解のために』 山口 博史

李里花編著『朝鮮籍とは何か——トランスナショナルの視点から』 孫 片田 晶

平野裕子・米野みちよ編『外国人看護師——EPAに基づく受入れは何をもたらしたのか』 高畑 幸

板津木綿子編著、小澤智子・北脇実千代著『食と移動の文化史——主体性・空間・
表象をめぐる抗い』 徳永 悠

Reiko Maekawa, Darwin H. Stapleton and Roberta Wollons eds.

Crossing Cultural Boundaries in East Asia and Beyond 板津 木綿子

鈴木江理子編著『アンダーコロナの移民たち——日本社会の脆弱性があらわれた場所』 野入 直美

フィリッパ・レヴァイン著『イギリス帝国史——移民・ジェンダー・植民地のまなざしから』 山本 めゆ

清水睦美・児島明・角替弘規・額賀美紗子・三浦綾希子・坪田光平著『日本社会の

移民第二世代——エスニシティ間比較でとらえる「ニューカマー」の子どもたちの今』 伊吹 唯

jams 日本移民学会
The Japanese Association for Migration Studies

明石書店

